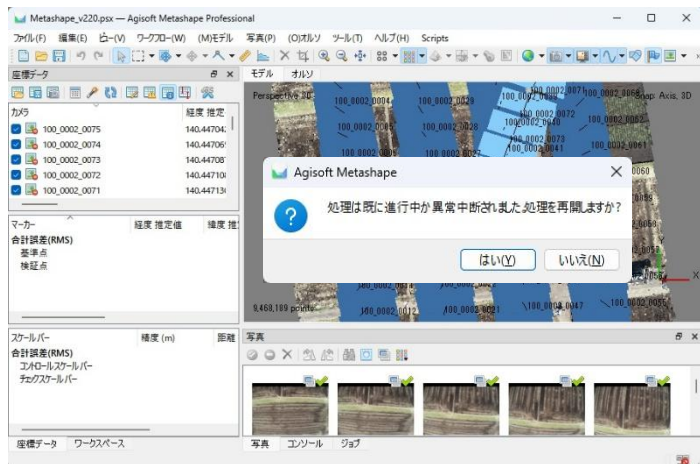
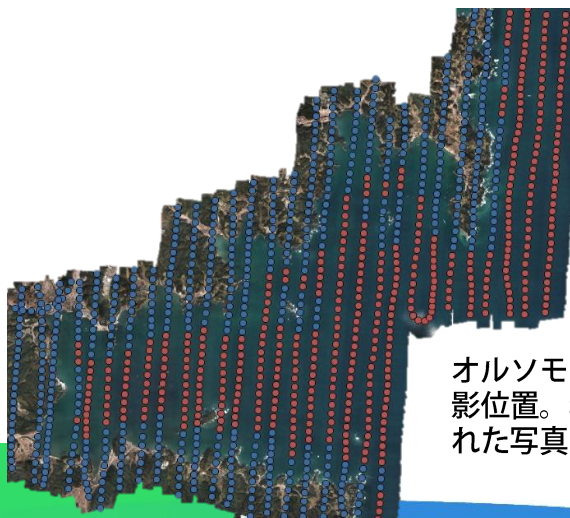


メタシェープ Ver2.2 主な追加機能

- ①異常終了後の処理再開機能 Ver2.2では、処理中に予期しないソフトウェアの異常終了やパソコンのシャットダウンが発生しても 障害発生時点から処理を再開できるようになりました。

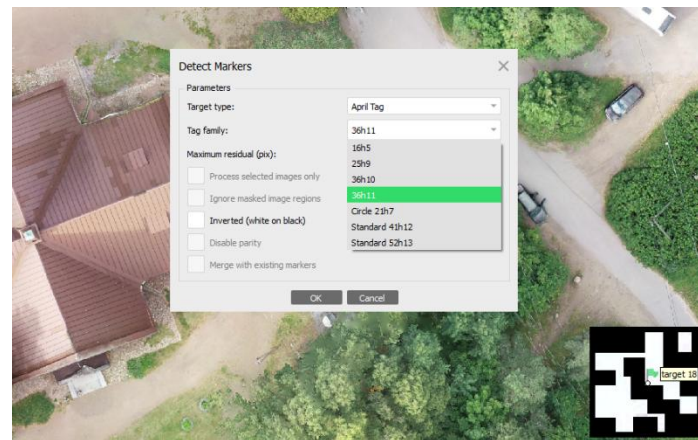


- ②地理参照によるカメラの位置合わせ機能 Ver2.2では、カメラの撮影位置・方向の情報から位置合わせを行うことで 水面など今まで処理できなかった対象のオルソモザイクを構築できるようになりました。

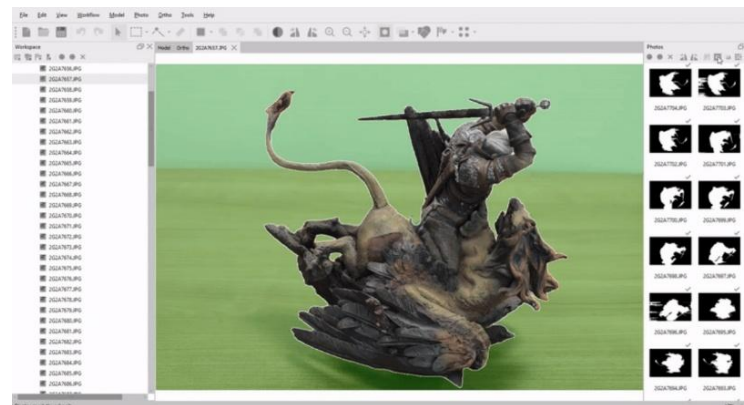


オルソモザイク内の丸は写真の撮影位置。赤丸は位置合わせ処理された写真

- ③マーカーの自動検出に「AprilTag」が追加 Ver2.2では、一般的な対空標識やMetashape用のターゲットの他に「AprilTag」の自動検出に対応しました。



- ④AIによる背景画像の自動マスキング機能 Ver2.2では、AIによる自動マスキングによって簡単に撮影画像から背景をマスクすることができるようになりました。



スタンダード版プロフェッショナル版共通の追加機能

- [マスクを生成]ダイアログに AIベースのマスク方法を追加
- [ワークスペース]ペインに複数のマスクインスタンスを追加
- [ポイントクラウドをスムージング] と [ポイントクラウドを着色] ダイアログに "ソースポイントクラウドを置き換える"パラメータを追加
- ローカルモードで処理状態を保存し、電源障害後に処理を再開できる機能を追加
- 予期しないエラーが発生した場合に処理を再試行するダイアログを追加
- [ワークフロー]メニューの主要な処理コマンドに"各工程毎にプロジェクトを保存する"オプションを追加
- [スムーズモデル]と[モデルリファイン]ダイアログに"ソースモデルを置き換える"オプションを追加
- [写真]ビューに選択ツールを追加
- [チャンクの結合]と[チャンクの複製]コマンドに"マスク"オプションを追加
- [ワークスペース]ペインのコンポーネントコンテキストメニューに、コンポーネント別に写真をフィルターするコマンドを追加
- [ポイントクラウドをインポート]にCSV形式を追加
- [動画キャプチャー]コマンドに MP4 (Windows および Linux) / MOV (macOS) ファイル形式を追加
- [ワークスペース]ペインのコンテキストメニューに"マスクをエクスポート"コマンドを追加
- [カメラをエクスポート]ダイアログにColmap形式用の画像名テンプレートパラメータを追加
- [カメラをエクスポート]ダイアログにColmap形式の"イメージ"オプションを追加
- [カメラをエクスポート]ダイアログにColmap形式のピンホールカメラモデルへの変換を追加
- [カメラをエクスポート]ダイアログにColmap形式の魚眼カメラモデルを追加
- ツール -> [タイポイント]メニューにフィルターコマンドを追加
- カメラのコンテキストメニューに"タイポイントをフィルタリング"コマンドを追加
- タイポイントにイメージ数による色分け表示モードを追加
- モデル -> [プリセットビュー]メニューに"回転ステップを変更"コマンドを追加
- [バッチ処理]ダイアログに"マスクをインポート"と"マスクを生成"コマンドの"既定のマスクを置き換える"パラメータを追加
- 階層的アプローチを使用するように"選択したカメラのアライメント"コマンドを更新

プロフェッショナル版の追加機能

- 航空LiDARのボアサイトキャリブレーションを追加
- ツールメニューに[LIDARキャリブレーション]コマンドを追加
- [レーザースキャンのアライメント]コマンドに"初期の向きを使用する"オプションを追加
- 複数のレーザースキャンを1つのファイルにエクスポートできるように[ポイントクラウドをエクスポート]ダイアログに[各ポイントクラウドを別のファイルに保存]オプションが追加
- レーザースキャンに差分表示モードを追加
- [レーザースキャン]コンテキストメニューに"タイポイントをフィルタリング"コマンドを追加
- [ポイントクラウド]メニューに"スキャン角度でフィルタリング"コマンドを追加
- AprilTagコード化ターゲットに対応
- [マーカ]コンテキストメニューに"標高を測定"コマンドを追加
- [マーカ情報表示]のコンテキストメニューに"プロジェクションを取り除く"コマンド
- ツール -> [オルソモザイク]メニューに"オルソモザイクのパンシャープン"コマンドを追加
- マルチカメラシステム用に、カメラキャリブレーショングループのコンテキストメニューに"スレーブの切り離し"コマンドを追加
- SenseFly Duet-Tマルチカメラシステムに対応
- [カメラ]コンテキストメニューに"地理参照によるカメラの位置合わせ"コマンドを追加
- [バッチ処理]ダイアログの"オルソモザイク構築"と"DEM構築"コマンドに"平面投影"と"円柱投影"オプションを追加
- [テクスチャ構築]コマンドのソースデータに"オルソモザイク"オプションを追加
- [オルソモザイク構築]ダイアログに"モデルテクスチャを転送"オプションと"タイル化モデル"サーフェイスタイプを追加
- [パノラマをエクスポート]コマンドで地理参照パノラマのEXIFメタデータにGPS座標を保存するように更新
- [カメラキャリブレーション]ダイアログに"GNSSバイアス"を追加。
- ツール->[ジオイド]メニューにプロジェクトのジオイドを設定するコマンドを追加
- [ワークスペース]ペインのコンテキストメニューに"重複したポイントを分類"コマンドを追加
- [ポイントクラウドをインポート]ダイアログに"イメージを読み込"オプションと"ポイントの属性"を追加
- SiteScanアプリで撮影した動画からの GPSメタデータのインポートを追加
- 視差のない衛星画像処理に対応
- カスタムベースマップのプロジェクションに"Geodetic"を追加
- カスタムベースマップに"火星"と"月"の地形を追加
- 処理を停止せずに再接続するようネットワークワーカを更新
- 一時停止中に新しいワーカを追加するようにネットワークサーバーを更新 (→resume-workers コマンドラインオプションでオーバーライド可能)
- ネットワーク処理サーバーの状態をデータベースに保存するように更新
- ネットワークサーバーからレプリケーションサポートを削除
- Agisoft Viewerで斜め画像に対応
- EPSGをversion11.025に更新